

平成 30 年 6 月 吉日
左京区保護司会
山口 正勝 佐伯 知彦
久保 優佳

法務省主唱

「社会を明るくする運動」

《深まる苦しみ ひろがる傷口》

～亀岡交通事故の犠牲者遺族の思い～

初夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は地域のためにご尽力を賜り、誠に有難うございます。

さて7月は、法務省主唱の「社会を明るくする運動月間」です。

左京保護司会北部ではその一環として、日頃より考えていることや感じていることなどを共感、語り合える集いを計画いたしました。

ご多用とは存じますが、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

講師

京都交通事故被害者の会 古都の翼

中江 美則 氏



(犯罪更生保護団体 ルミナ 代表)



平成 24 年 4 月、京都府亀岡市で起きた集団登校中の交通事故で、児童に付き添っていた妊娠中の長女を亡くし、その悲惨さを訴えるために講演活動や運動を行なっている。

日 時 平成 30 年 7 月 6 日 (金)

受 付：午後 7 時～

講演会：午後 7 時 30 分～午後 9 時

場 所 市原野会館

連絡先 佐伯 741-2112

犯罪更生保護団体 ルミナ

について

亀岡の交通事故から 6 年。

中江氏が仕事を通じて、塙の中を

経験した者達との交流から生まれ

た団体として、この春立ち上げた。

最悪の犯罪を起こさないための支

援活動を始動したところである。

共 催：左京北地区更生保護女性会 (鞍馬・静原・市原学区)